

教科名	外国語	学年	2 学年
-----	-----	----	------

目 標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 [知識及び機能] ・外国語の音声や文字，語彙，表現，言語の働きなどについて，日本語と外国語との違いに気付くとともに，読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことにより実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 [思考力、判断力、表現力等] ・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 [学びに向かう力、人間性等] ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
学年の目標	・ 音声や文字，語彙，表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに，読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，話すこと，読むこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。 ・ コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 ・ 外国語の背景にある文化について理解し，他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5	6	オリエンテーション 自己紹介	【知識及び技能】 ・日本語と外国語との違いに気が付き、名前やあいさつ、趣味、特技を伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・例文に沿って、英単語を活用しながらまとめ、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己紹介を通じて、主体的に相手と外国語を用いて表現することができる。	1 英語の特徴に関する事項 (1) 食べ物やスポーツなど生活に関わる単語について (2) 「はじめまして」「よろしくお願いします」など簡単な挨拶に関する発音、表現 (3) 正しい発声や文字の書き方 ア アルファベットについて（大文字小文字） イ p と q、b と d など似た字の確認 ウ 数字（ローマ数字、アラビア数字） エ アルファベット別の正しい発音 オ 単語の正しい発声 2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 身近で簡単な事柄について、事柄を想像しながら読んだり書いたりする。 ア 自分の好きなことや得意なことに関する単語 イ 相手が好きなことを聞いて読み取る ウ 簡単な単語でのやりとり 3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと、話すこと（やりとり）、聞くこと ア 年齢、家族構成、住んでいる町、趣味などの表現方法 イ 相手の自己紹介を聞いて、正しく情報を受け取る (2) 読むこと、話すこと（発表） ア 例文に沿った英文の表現、発声 イ 単語でのやりとり（日本語に合わせた外国語の選択、意味の理解） ※ALT による学習 ALT とのやりとりを通じて、日本語と外国語の表現方法の違いや、正しい発声方法や英単語を聞き取る力を深める [国語：音読] [数学：時計、暦]	【知識・技能】 1 段階：例文に沿って単語を組み合わせながら自己紹介ができる。 2 段階：日本語と外国語の表現や発音の違いを理解し、自己紹介をまとめることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：単語の一覧から自分の趣味や特技を選び、表現することができる。 2 段階：挨拶を iPad で調べ、選択した内容を自己紹介に組み合わせて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：相手（目の前の相手）とのやりとりを通じて、自分のまとめた内容を主体的に表現できる。 2 段階：他者（複数の相手）とのやりとりを通じて、相手が伝えたい内容の意味を理解し情報を受け取ることができる。 評価方法： プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)
				1 英語の特徴に関する事項 (1) 過去形、現在形、現在進行形による表現の違い ア 過去形⇒現在形 例 1) 私は〇〇中学校に通っていた ⇒私は新得高等支援学校に通っています。 イ 現在形⇒現在進行形 例 2) 私は新得高等支援学校で木工を学びます ⇒私は今新得高等支援学校で木工を学んでいます。) (2) 必要に応じた簡単な挨拶（Hello、Hi など） (3) 正しい発声や文字の書き方 ア アルファベットについて（大文字小文字） イ 数字（ローマ数字、アラビア数字） ウ 単語の正しい発音 2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 過去、現在、進行形に沿って情報を整理しながら考えをまとめる。 (2) 簡単な事柄（学校生活に関すること）を用いて自分の考えや気持ちを伝え合う。 ア 学習内容に関すること イ 友達や先生など人物に関すること ウ 学校行事に関すること など 3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと ア 日本語で書いた内容を、英文の例に沿って単語をあてはめながら文章を作る。 イ 文章に合わせた写真やイラストを画用紙に貼り、単語や単文で表現 (2) 話すこと（やりとり）、読むこと ア 挨拶に対する返答（発声と発音の確認）	【知識・技能】 1 段階：例文に沿って、単語を当てはめながら文章を書くことができる。 2 段階：例文に沿って、表現方法の違いを意識しながら文章を書くことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：今までの学校生活に関する事柄を振り返り、自分の考えや気持ちを英語で伝えることができる。 2 段階：相手に伝わりやすい表現方法を考えて、自分の考えや気持ちを英語で伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：相手（目の前の相手）に自分の学校生活についてまとめた内容を発表することができる。 2 段階：(ALT や全体の前で) に自分の学校生活についてまとめた内容を発表することができる。 評価方法： プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)
6 7 8	7	過去、現在とこれから	【知識及び技能】 ・例文に自分のことに関する内容を単語であてはめながら、文章を作ることができる。 (過去形、現在形、現在進行形による表現の違い) 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去や現在、これからの自分に関係する写真や事柄をまとめ、文字やイラストを活用しながらまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、画用紙にまとめた内容を発表することができる。		

				イ 単語でのやりとり（日本語に合わせた外国語の選択、意味の理解） (3) 話すこと（発表）、聞くこと ア 学校生活に関することを含めてまとめた文章を発表 イ 定型文に沿った正しい発声、発音、表現 ウ 相手にわかりやすい表現（身振りやイラストの紹介など）		
				※ALT による学習	・日常取り組んでいる学習集団を相手、ALT を他者と捉え、それぞれの相手に学校生活についてまとめた内容を正しい発声や文法、表現方法で伝えることを学習の内容とする	
				[国語：作文] [美術：絵画] [社会：文化] [職業：社会生活]		
9	10	5	道案内	【知識及び技能】 ・目的地を示した例題を提示し、場面に沿った語彙、表現方法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手とのやりとりを通じて、目的や場面、状況を考えたり判断したりしながら正しく表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・外国語の背景にある文化を理解し、主体的に相手と外国語を用いて道案内を図ることができる。	1 英語の特徴に関する事項 (1) 道案内の際に訪ねる表現方法について（助動詞の活用） ア How can I get to ○○?（○○へはどのように行けば良いですか？ イ Could you tell me ○○?（○○について教えてくださいませんか？ など (2) 道案内を訪ねられた際の表現方法について ア Walk straight on this street.（まっすぐ進んでください。） イ Then turn left at the first traffic light.（最初の信号を左に曲がってください。） など (3) 訪ねるとき、訪ねられたときの挨拶 ア Hello、Hi、Excuse me. などの表現 イ Thank you などのお礼に関する表現 ウ sure、OK などの相手にお問い合わせされたときの返答	【知識・技能】 1 段階：目的地に合わせて例文に単語をあてはめながら単文を書くことができる。 2 段階：簡単な語句や基本的な表現が表す内容を知り、用件を相手に正しく伝えることができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：文例から相手に説明する内容を選択して表現することができる。 2 段階：相手に伝わりやすい道案内の方法を考えて、地図の指さしと言葉による表現で伝えることができる。	
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：相手（目の前の相手）に目的地に対する道案内を聞くことができる。 2 段階：ALT（他者）とのやりとりを通じて、目的地まで道案内を行うことができる。	
					評価方法： プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)	
11	12	8	外国の暮らしや文化	【知識及び技能】 ・日本語と外国語の違いや正しい発音について知ることができる。 ・外国の文化や習慣について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本と外国の暮らしや文化の違いについて、調べたりまとめたりしながら表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と調べた内容を共有し、主体的に文化の違いについてまとめたり、確認したりすることができる。	1 英語の特徴に関する事項 (1) 考えや意図を伝える（質問に対する回答をまとめる。英和・和英辞典、iPad などの活用） 例) ア どの国について調べたか イ どのような文化がある国であったか ウ 調べた国の食べ物や有名な建物、スポーツなど エ 挨拶の違い（礼、握手、ハグ、チークキスなど） (2) 日本語で発音されている外国語と正しい外国語の発音の違い ア 日本語での発音と外国語での発音の違い イ 和製英語と正しい英語表現	【知識・技能】 1 段階：日本語と外国語の違いや正しい発音について理解することができる。 2 段階：身近な表現（挨拶など）について、様々な国の単語、発音、表現方法を理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：外国の暮らしについて調べたことをまとめることができる。 2 段階：日本と外国の文化の違いを比較し、調べたことをまとめることができる。	
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：他者と調べた内容を共有し、自分が調べた内容との違いを確認する。 2 段階：様々な国の文化の違いを聞き、主体的に文化の違いや興味・関心の深い事柄をまとめることができる。	
					評価方法 プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)	
				2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 日本と外国の暮らしや文化の違い ア 四季や気候について イ 食べ物や衣服などの生活に関する違い ウ 身近な単語（挨拶など）の表現、言語の違い エ 建物の様式や社会の仕組みに関する違いなど (2) 調べた情報をまとめ、英語で表現したり、伝え合ったりする ア 調べた内容を教師の質問に沿って発表する。 イ 自分が調べた内容と相手が調べた内容の違いを比較する ウ 相手の調べた内容を聞いて単語を聞き取り、違いを表現する		
				3 言語活動及び言語の働きに関する事項		
				(1) 書くこと		
				ア 質問に対する回答を文例に単語を当てはめながら記入する。		

				イ 多言語にあわせた単語の表記を、英語とは別に文字を見ながら書き写す。 ウ 食べ物、建物、人気のスポットなどについて写真やイラストを用いながらまとめたり、紹介したりする。 (2) 話すこと (やりとり、発表)、聞くこと ア 調べた内容を教師の質問に沿って回答する。 イ 相手と調べた内容について伝え合い、文化の違いや生活様式について確認したり、比べたりする。 (3) 読むこと ア 文例に沿ってまとめた英文や単語を正しい発音で発表する ※ALT による学習 ・ALT の母国について、上記の質問と同じ内容を生徒から行い、ALT から受けた回答について発音を聞いたり、単語を調べたりしながら他国の文化について理解を深めることを学習の内容とする 〔国語：音読、作文〕〔社会：地理〕	
1 2	4	買い物	【知識及び技能】 ・買い物をする際に必要な表現方法や文例を理解しながら学ぶことができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・買い物の目的を設定し、状況に応じて必要な表現方法を考えたり、選んだりしながら伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相手や他者とのやりとりを通じて主体的に外国語を用いてコミュニケーションをとることができる。	1 英語の特徴に関する事項 (1) 買い物をするときの表現方法について ア 店員 (ア) May I help you?や ○○yen, please. 等の基本的な接客のやりとり (イ) Thank you very much. 等の感謝の言葉 イ 客 (ア) Excuse me. I’ m looking for ○○. などの店員とのやりとり (イ) How much is it?などの決まった表現による質問 (2) 日本語で発音されている外国語と正しい外国語の発音の違い ア 日本語での発音と外国語での発音の違い イ 和製英語と正しい英語表現 ウ 目的の物に関する単語や発声、発音 2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 言語の使用場面 (特有の表現が使われる場面) ア 場面に応じた表現方法 (入店～商品選び～会計時の伝え方) イ 相手に気持ちを伝える (表現する) 方法を文例や単語を選択する。 ウ 相手とのやりとりを通じて考えや意図にあわせた言葉を選択して表現する。 (2) 言語の働き ア 対話によるコミュニケーション (挨拶、呼び掛ける、相づち) イ 買い物のやりとりを通じて気持ちを伝える (礼を言う) ウ 事実・情報を選択したり、考えたりしながら伝える (説明する) エ 考えや意図を伝える (気持ちを伝える、承諾する) オ 相手の行動を促す (質問する、依頼する) 3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと、読むこと ア 店員と客それぞれの立場に立ち、買い物を成立させるために必要な会話がどのようなものであるか確認 イ 文例に単語を当てはめながら英文をまとめる ウ 正しい発音、発声方法を確認する。 (2) 話すこと (やりとり、発表)、聞くこと ア 教師とのやりとりを通じて買い物の流れや質問、返答の方法を確認する。 イ 相手と店員役、客役を交互に行いやりとりを行う。 ウ 相手の表現に対し、聞き取ったことに返答をする。(考えて伝える、選択してから選んで表現するなど) ※ALT による学習 ・上記教師や生徒同士のやりとりで学習した内容を ALT と行い、正しい表現方法や様々な聞き方、表現方法があることを経験しながら、外国語に慣れ親しむことを学習の内容とする。(買い物文化の違い⇒店頭に並んでいる物を試食して購入するか選ぶ、商品の量の違い、数の単位 (個とダースなど) 〔国語：音読、作文〕〔社会：地理、文化〕	【知識・技能】 1 段階：簡単な語句や基本的な表現などが示す内容を知り、相手に気持ちを表現できる。 2 段階：日本語で考えた表現を外国語に変換し、相手に気持ちを表現できる。 【思考・判断・表現】 1 段階：定型文に沿って相手とやりとりができる。 2 段階：状況に応じて単語や単文を選んだり、考えたりしながら相手と対話ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：相手 (目の前の相手) とのやりとりを通じて、主体的に外国語を活用しながら表現することができる。 2 段階：他者 (ALT) とのやりとりを通じて、日本と外国語の違いに気が付いたり、文化や習慣の違いに関心を持ったりすることができる。 評価方法： プリント課題 (提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子 (姿勢)
3	5	将来の夢	【知識及び技能】 ・将来の夢に関する内容について、英語を用いた語句や基本的な表現方法を通じて内容をまとめることができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・自分の夢や目標について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句など	1 英語の特徴に関する事項 (1) 将来の夢についてまとめる表現方法について ア My dream is ○○. (自分の将来の夢は○○です。) イ 夢の実現のために何を頑張るか (単語とイラストを並べながら内容を画用紙にまとめる。) ウ 発表に必要な表現方法を考えたり、例文から選択したりしながらまとめる。 (2) 日本語で発音されている外国語と正しい外国語の発音の違い ア 日本語での発音と外国語での発音の違い	【知識・技能】 1 段階：簡単な語句や基本的な表現などが示す内容を知り、主に単語で将来の夢について表現できる。 2 段階：日本語で考えた表現を外国語に変換し、将来の夢について主に英文に書き換えて表現できる。 【思考・判断・表現】 1 段階：単語の意味を理解し、相手に表現することができる。

			を用いて自分の考えや気持ちを相手と伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えだけでなく相手の考えを尊重し、相互にお互いを高め合ったり、共感したりしながら学ぶ姿勢を高めることができる。	イ 和製英語と正しい英語表現 ウ 目的の自称や事柄に関する単語や発声、発音 2 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (1) 言語のやりとりに関して ア 発表に向けて情報を整理しながら考える イ 夢の実現に向けて今まで頑張ったことやこれから頑張ることを単語やイラストでまとめる ウ 上記の内容を踏まえ簡単な語句を用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 (2) 言語の使用場面（特有の表現が使われる場面） ア 挨拶やお礼に関する表現（Hello, Thank you など） イ 聞き直したり、理解したことを伝える表現（Excuse me. I’ m sorry. Pardon? I See. など） 3 言語活動及び言語の働きに関する事項 (1) 書くこと、読むこと ア 日本語で自分の夢や今まで頑張ってきたこと、これから頑張ろうとしていることなどを文章や単語でまとめる イ 例文に沿って自分の夢について英文に書き換えて模造紙に表現する。（英和・和英辞典、iPad の活用） ウ 例文に関する正しい発声や発音、英単語表現の確認 (2) 話すこと（やりとり、発表）、聞くこと ア 自分のまとめた内容を相手に伝える イ 相手の発表から内容を聞き取り、日本語や単語で書く ウ 相手の夢について英和・和英辞典、iPad の活用しながら単語や正しい発音、発声を確認する ※ALT による学習 上記教師や生徒同士のやりとりで学習した内容を ALT と行い、ALT の将来の夢や日常の出来事、好きなことなど様々な内容について聞き取り、単語や簡単な単文で表現しながらやりとりを行うことを学習内容とする 〔国語：作文〕	2 段階：状況に応じて単語や単文を選んだり、考えたりしながら相手に将来の夢を伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：相手（目の前の相手）の表現を聞き、聞き取った内容を単語で答えたり、分からないことを聞き直したりできる。 2 段階：他者（ALT）の表現を聞き、聞き取った内容を主体的に表現したり、共感したりしながら学びに向かう姿勢を深めることができる。 評価方法： プリント課題(提出)、出席、授業参加状況、取り組みの様子(姿勢)
--	--	--	--	---	--